

2020年4月23日

「世界本の日」にあたり、著者、出版社、書店は国際的な支援を求めています

WORLD BOOK DAY – AUTHORS, PUBLISHERS AND BOOKSELLERS CALL FOR INTERNATIONAL SUPPORT

世界の書籍出版業界を代表する私たちは、世界中の政府に対し、景気刺激策を採用して各国における出版活動とそれを取り巻くバリューチェーンを維持することにより、書籍、学習教材、専門的および学術的な著作物の重要性を認識し、支援し、喧伝していただくよう要請します。

本日、2020年の「世界本の日」にあたり、私たちは、本が社会で果たす重要な役割に思いを馳せています。私たちは本を通して、他の文化に出会い、夢を見ます。互いに理解し合います。本を通して私たちは共感する方法を学びます。本は科学的研究、子供たちの教育、そして生涯学習になくてはならないものです。本は私たちがより良い人間になるのに役立ちます。

本は、それらを著述し描く著者が必要ですし、投資する出版社、読者に提供する書店、および著作権を保護するための集中管理組織が必要です。この社会にとって非常に重要である連鎖が、差し迫った脅威にさらされています。

この社会的距離の時代に、本の重要性が再び強調されました。家にいて本を読むことは、他人を気遣う方法です。世界中の新聞やブログが、孤立している間に読むべき本のリストをまとめました。それが避難のためであろうと、何が起きているのか理解するためであろうと、本は人々が困難な時期に頼るものです。

多くの国で、親は教育者になる必要がありました。教師は生徒に授業をもたらす新しい方法を見つける必要がありました。世界中の作家と出版社は、コンテンツとデジタルサービスのライセンスを取得して対応しています。「Read The World」のようなオンライン上での読書が急激に広まり、出版社や著者は保護者にサポートを提供しています。世界は、その健康政策を導き、ワクチンを開発するために、専門誌に発表された研究に期待を寄せています。研究の検証とその幅広いコミュニケーションに対するジャーナル出版社の投資は、ここで非常に重要です。また、COVID-19に関連する研究を自主的に自由に利用できるようにし、再利用しやすくなりました。

一般向けの本、子供向けの本、教育リソース、科学研究など、著者、出版社、流通業者、書店、集中管理団体は、必要に応じて迅速に対応し、社会において責任ある役割を果たすようになっています。COVID-19ウイルスは、世界中の人々に悲惨な影響を及ぼしています。経済はシャットダウンしており、いつ正常に戻るのか、それが可能であるとしても、誰も確実に知りません。出版部門を含む世界のクリエイティブ産業は壊滅的な打撃を受け

ています。

多くの国で、私たちの産業はすでに生き残るための酸素を求めて奮闘しています。著者、出版社、編集者、デザイナー、流通業者、書店、および集中管理に携わる人々の未来を確実にする方法を見つけなければなりません。そうすれば、このパンデミックが征服された後、出版業界は立ち直ることができます。

新しい本のない世界は悲しくて貧しい場所でしょう。私たちはこの危機を乗り越えるために一生懸命取り組んでいますが、生き残るためには助けが必要です。私たちはこの困難を一丸となって乗り越えるために政府の助けを必要としています。

欧州・国際書店連盟	共同代表	ジャン=リュック・トゥレテノール
国際著作者フォーラム	会長	ジョン・ディーゲン
世界複製権連盟	会長	イングヴェ・スレットルム
国際出版連合	会長	ユーゴ・セッツァー
科学技術医学出版社連合	会長	イアン・モス